

# 明日の方がもっと元気！ そんなシルバー社会を目指して

これからのシルバー人材センター



▲野菜栽培のお手伝い  
元気と手際の良さで  
お役に立ってます



ていねいな指導が人気▶  
シルバー会員が講師の  
パソコン教室



人口構成の動向(▼下部グラフ参照)によると日本の65歳以上の人口は2030年には3,477万人(29.6%)。60歳以上の方を含めると全体人口の36.5%を高齢者が占めることになります。団魂の世代もまもなくシルバー世代の仲間入り。まだまだ元気な自分自身のいきがいと能力が発揮できる場所を求めて、シルバー人材センターの仕事はより幅広く、より実践力のある内容にふくらみそうです。そんな明るく活気ある社会の一員としてがんばる高齢者をセンターはしっかりサポートしていきたいと考えています。

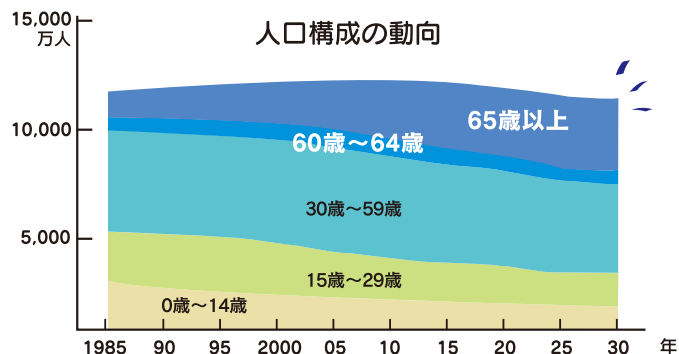


▲シルバー会員の仕事を  
中学生が社会科見学にきました

▼散歩や買い物の付き添い  
家族や本人に安心して  
いただいています



◀お母さんがいない間の「子守り」  
折紙こうきに子ども達は夢中です



資料出所：2000年までは総務省統計局「国勢調査」、2005年以降は  
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(2002年1月、中位推計)

## いつでもイロイロ！ シルバーは活躍しています！

### 子ども達の笑顔に“生きがい”

#### ●育児支援サービス

お母さんが料理講習会に参加する間、子ども達はおばあちゃんと一緒。毎日の子育てに一生懸命なお母さんのほんの少しの息抜きをシルバー人材センターが支えています。温かい雰囲気の中、本を読んだり手遊びをしたり…優しい対応で初めての子ども達ともすぐに仲良しに。かわいい笑顔に会員が生きがいを感じる一時となっています。

会員の読み聞かせに夢中になっている女の子



#### インフォメーション

産前産後のお手伝いや子育て中のお家での家事援助、また、イベント時の託児や学童保育など、いろいろな場面でお手伝いしています。

### 地域伝統をもっと多くの方に

#### ●会員作品の展示即売会

シルバー人材センターでは、会員が日頃から手掛ける作品を展示即売しています。特に柳川の郷土に伝わる雛飾り「さげもん」は大人気。女の子の健やかな成長を願って、丁寧に作った色とりどりの手まりや袋物など縁起のいいものが並びます。会員も伝統継承につながるとやりがい満ちています。

会員同士の趣味が広がる交流の場ともなっています



#### インフォメーション



センターは、地域の文化・伝統工芸などを次世代に引き継ぐお手伝いもしています。また趣味や特技などの発表も行っています。

### 自分たちの街にもっと愛着

#### ●ボランティア活動

シルバー人材センターでは、社会活動を積極的に取り組んでいます。指定場所に会員たちが集合し、空き缶拾いや正月の前には門松の設置を行っています。ささやかな活動ではありますが、地域の皆さんに喜んでいただいたり、改めて自分の街を見つめ直すキッカケとなったり、会員それぞれが前向きな気持ちになる時間となっています。

空き缶拾いに取り組んでいます



#### インフォメーション

県内ほとんどのセンターで駅周辺や公共施設、道路等の除草、清掃作業等のボランティア活動を行っています。

### きょうも元気でなによりだね

#### ●配食サービス

高齢者宅に作りたての温かい食事を届ける配食サービス。おいしい食事はもちろん、高齢者の健康や安否を確認する大切な業務です。高齢者同士の気の合う話も好評で、みんなが楽しみに待っていてくれます。通称「まごころランチ」の人気はまだまだ続きそうです。



#### インフォメーション

全国シルバー協会設立20周年記念事業「感想文の部」で会長賞を受賞した田中恵美子さん(福岡市SC)の作品の一部をご紹介します。

“配食サービスは愛が基本”  
ランチ待つ 君の笑顔を想いつつ  
あしどり軽く 階段のぼる